

第 31 回生活科学系コンソーシアム会議 議事録

日時 2021 年 3 月 24 日 (水) 15:00~16:30

方法 ビデオ会議 (WebEx)

出席者 (敬称略 あいうえお順) 合計 22 名

構成学会 10 学会 11 名

国際服飾学会	佐々井啓
生活経済学会	倉田あゆ子
日本衣服学会	加藤登志子
日本家政学会	藤井恵子
日本家庭科教育学会	綿引伴子
日本消費者教育学会	柿野成美
日本食品衛生学会	小西良子 高野伊知郎
日本調理科学会	名倉秀子
日本保育学会	波多野名奈
服飾文化学会	大網美代子

家政学分科会委員 11 名

阿部栄子 池田彩子 小川宣子 工藤由貴子 重川純子 守随香
杉山久仁子 鈴木恵美子 多屋淑子 都築和代 宮野道雄

欠席者

構成学会 6 学会

日本健康医学会 日本健康科学学会 日本健康心理学会 日本食生活学会
日本食品科学工学会 日本繊維製品消費科学会

配布資料

資料 1 出席名簿
資料 2 生活科学系コンソーシアム第 31 回会議議事録 (案)
資料 3 第 12 回生活科学系博士課程論文発表会
資料 4 2020 年度活動報告 (案)
資料 5 2020 年度決算報告 (案)
資料 6 2021 年度活動計画 (案)
資料 7 2021 年度予算 (案)

議題

(1) 生活科学系コンソーシアム第 30 回会議議事録の承認

杉山会長より議事録案 (資料 2) が説明され、第 30 回会議議事録として承認された。

(2) 第 12 回生活科学系博士課程論文発表会について

重川委員より、第 12 回生活科学系博士課程論文発表会 (資料 3) が無事に終了したこと、出席者は 2 会場の合計で約 60 名であり、オンライン開催のため遠方からも参加しやすかったことが報告された。な

お、オンラインでは質問しにくく、交流会もないため発表者との情報交換の仕方については工夫が必要であるという意見がされた。

(3) 2020 年度活動報告及び決算について

小川委員より 2020 年度活動報告案（資料 4）が、鈴木委員より 2020 年度決算報告案（資料 5）がそれぞれ説明された。なお、活動報告と決算については 2021 年 5 月開催の第 14 回総会で最終版を報告し、承認を得る予定である。

(4) 2021 年度活動計画及び予算について

杉山会長より 2021 年度活動計画案（資料 6）が、鈴木委員より 2021 年度予算案（資料 7）がそれぞれ説明された。5 月開催予定の第 14 回総会は日本学術会議の会議室が新型コロナ対応で使用できないためオンラインで開催し、12 月開催予定のシンポジウムと 2022 年 3 月開催予定の第 13 回博士課程論文発表会は現時点では対面で行う予定である。

(5) 第 14 回生活科学系コンソーシアム総会について

杉山会長より、第 14 回総会は 2021 年 5 月 11 日（火）17:00～18:00 にオンラインで開催すること、構成学会からは会長と連絡担当者の両名の参加（代理出席も可能）とすることが説明され、承認された。国際服飾学会より、生活科学系コンソーシアムに対する構成学会の関わり方について議論すべきとの提案がなされ、継続審議とした。

(6) 生活科学系コンソーシアム設立趣意書の修正について

杉山会長より、前回の会議で説明した現在ホームページの概要に掲載している設立趣意書に記載されている内容が一部現状に合わなくなっている件について、設立趣意書は修正せず、現状を反映した趣意書を新たに作成して第 14 回総会で提案し諮ることが説明され、承認された。

(7) 生活科学系コンソーシアムの活動について

杉山会長より、日本学術会議では、4 月開催予定の日本学術会議総会に向けて会員から日本学術会議のあり方についての意見聴取がなされており、それぞれの活動が社会の要請に応えるものになっているか、タイムリーな対応ができていないか、新型コロナウイルス感染症への対応としてできることはないか、などの点が重要視されていると説明された。これに関して、生活科学系コンソーシアムとしてもできる活動（シンポジウムを含む）を各構成学会と共に、5 月開催予定の第 14 回総会で議論することになった。

報告

(1) 構成学会からの活動報告

日本食品衛生学会より、学術大会のオンライン開催によって参加者数が増加したことが報告された。また、その他の構成学会より、第 30 回会議以降の活動内容について報告された。

以上